

後期課程学校見学・座談会～6年生（10月27日）

新型コロナウイルス感染症の影響で延期していましたが、6年生が、後期課程を見学し、8年生の生徒と語り合う「座談会」を実施しました。昨年度はリモートで行いましたが、今年度は対面での交流が実現しました。

同じ学校の仲間とは言え、いつも顔を合わせている相手ではありませんので、緊張もあったのではないのでしょうか。後期課程8年生の生徒は、後期課程の生活を紹介したり質問に答えたりする準備を万端に整え、優しくやり取りをしてくれたようです。



終了後の振り返りでは、
「乗入で来ている先生がいたよ」
「技術家庭では、プログラミングや植物を育てる学習をするらしいよ」
「美術家は、小学校で言う『図工』のことだね」
「定期テストに向けて、計画的に学習することが大事だから、システム手帳を使っているんだって」
「6年生の応用問題ができるようになることが大事だと言っていたよ」
「フェスティバルでは、お笑い・劇・バンドなど、得意なことを生かして活動できるんだって」

などなど、先輩とお話したことを口々に報告する6年生の様子が見られました。

また、授業見学では、「難しそうなことをしているな」という思いと共に、「でもここは前期課程の学習と共通しているな」とつながりを見いだす姿もありました。

残りの半年間、「なりたい自分」のイメージを少しずつ確かにしながら、学校のリーダーとしての取組をたくさん残してくれるよう期待しています。



ふりかえりで話し合う
6年生の皆さんの様子です

学年懇談会が終了しました

11月2日（水）に、5年生の懇談会を実施し、全ての学年が終了しました。

Zoomでの参加にご協力いただき、ありがとうございました。

10月からバスダイヤが改正され、バスが混み合っている状況やバスの遅れによる乗り継ぎの難しさ、緊急時の連絡方法などについて、皆様から声をあげていただきました。

学校でも、バス乗車のマナーや混み合っている際の乗り方について、見守りと指導、実態の把握を密にしていくとともに、乗り継ぎ等に困った時の対応については、くしろバスにも協力してもらうよう働きかけていきます。



美しい夕焼けを背に
懇談会に臨む5年生担任団です

運動ふれあい週間Ⅱが終わりました（～11月1日）

子供たちが年間を通じて運動に関わる機会として「運動ふれあい週間」を実施しています。今回は「跳び箱チャレンジ週間」として、跳び箱とマットを体育館に常設しました。

特に2時間目に体育がある低学年の子供たちが、そのまま体育館に残って繰り返し跳び箱にチャレンジする様子が微笑ましかったです。後期課程から乗入してくださっている大西先生も見守ってくださっていました。

中高学年の子供たちは、グラウンドでのボール遊びが大人気！ドッジボールやサッカーを楽しむ様子が見られています。これも、日常的に運動に親しむ姿ですね。



6時間授業Bの短い中休みでも
しっかり時間を守って教室へ。さすが高学年ですね